

**ALDRICH®**

Advancing Science

Aldrich is a member of the Sigma-Aldrich family

AtmosBag™

Inflatable Polyethylene Isolation Chambers



Two-hand AtmosBag shown here with PE benchtop base and Benchrack lattice system



Two-Hand Type



Four-Hand Type

**製品仕様**

サイズ	開口部	たて×よこ	容量	製品番号		
				Tape-seal closure 未滅菌	Tape-seal closure 滅菌済	Zipper-lock closure 未滅菌
Two-hand AtmosBags™						
Small	12 in. (30.48cm)	27 x 30 in. (68.58 x 76.2 cm)	約50 L	Z11,283-6	Z11,837-0	Z53,020-4
Medium	24 in. (60.96cm)	39 x 48 in. (99.06 x 121.92 cm)	約280 L	Z11,282-8	Z11,836-2	Z53,021-2
Large	36 in. (91.44cm)	51 x 58 in. (129.54 x 147.32 cm)	約520 L	Z10,608-9	Z11,835-4	Z53,022-0
Four-hand AtmosBags™						
Large	30 in. (76.2cm)	45 x 58 114.3 x 147.32 cm	約500 L	Z10,840-5	-	Z55,552-5

- ・透明な 0.003 インチ(約 0.08cm)の厚さのポリエチレン製です。
- ・繋ぎ目は漏れを防ぐ為に熱処理されています。
- ・袋の両端にある入り口からガス供給、真空引き、電源供給できます。
- ・Two-hand タイプの AtmosBag™ には滅菌処理済タイプ及びジッパータイプがあります。
- ・AtmosBag™ は難燃性ではありません。また、溶媒など化学物質との長時間にわたる接触は避けてください。

特徴**AtmosBag™ with Tape-seal closure:**

袋の口を紐で閉じるタイプです。酸化エチレンガス(EOG)で滅菌処理したタイプもあります。いずれのタイプも取り外し可能な紐と取扱説明書がついています。

AtmosBag™ with Zipper-lock closure:

袋の口をジッパーで閉じるタイプです。袋を何回もあける必要のある場合や緊急に密閉したい場合に便利です。Two-handタイプのみで、チューブコネクター2個、木綿製手袋、ピンチクリップ及び取り扱い説明書がついています。

用途

不活性ガス下での実験用チャンバー、湿度コントロール用チャンバー、ダストフリーな環境、緊急隔離用、環境学、フィールドサンプリング用、科学捜査、air- and moisture-sensitiveな物質の取り扱い
顕微鏡検査、研究室でのサンプル調整、計量作業など

使用方法

AtmosBag™ を口を手前にして平らな場所に置き、袋が動かないように板や支持台を中に入れ両面テープで固定します。

両面テープで固定することで、何かの振動で不安定になったときでも中のガスが漏れにくくなります。

ガス導入用コネクタの接続(図 1 参照)

AtmosBag™ の両端に有る接続口先端を切りテープタイプの場合は、チューブをそのまま差し込み紐や輪ゴムなどで縛ります。ジッパータイプの場合は、付属のコネクタをとりつけることで内径 1/4 インチのチューブを使用できます。

三方コックなどを使うとひとつの接続口だけで作業できます。

AtmosBag™ にパージガスを流し、手前の口から静かにガスが流れ出る事を確認し、必要な器具を中に入れます。パージガスを入れる前にガスで置換した瓶を入れておくと時間の節約になります。図 2 は参考例です。

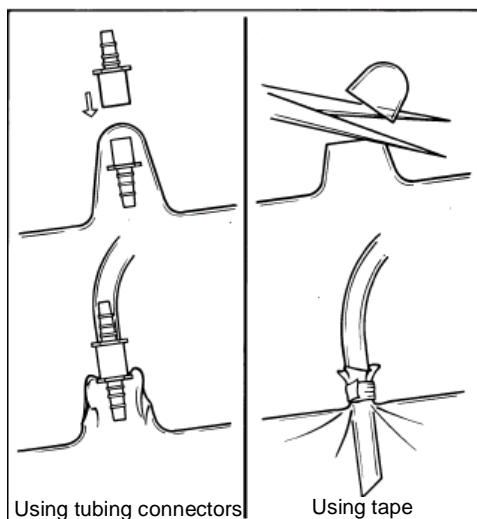


図 1

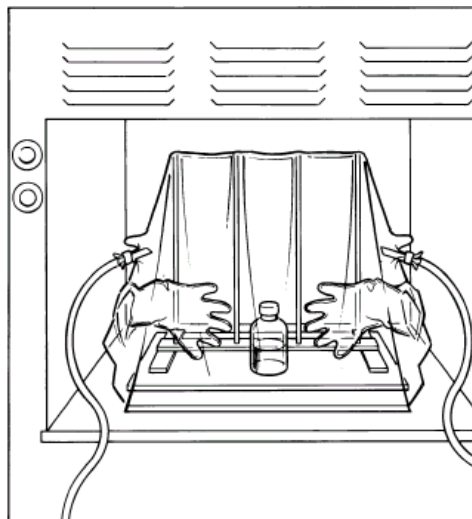


図 2

AtmosBag™ 内の置換

-1 脱気・ガス導入(図 3)

A. AtmosBag™ の口をしっかりと締めた後、2 回以上折り曲げてクリップで留めてください。

Bag の口をクリップで留めておくと、Bag の内圧が突然高くなったときにガスが逃げるのを防いでくれます。

B. 脱気して、不活性ガスを導入します。この際、ガスをあまり入れすぎずに手に入れられる程度のガス圧にします。これを 3~5 回繰り返してください。

C. ガス導入を止めて数分間、袋がしぼまないことを確認したらに進んでください。

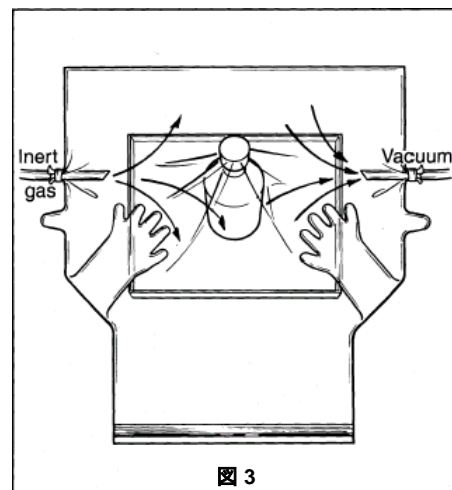


図 3

-2 脱気の出来ない場合(図 4)

- A. AtmosBag™ の口を締めた後、不活性ガスを導入しガスを止めます。
- B. 口を少し開けてガスを逃がします。
- C. この作業を 3 から 5 回行い、手を入れられる程度のガス圧にして AtmosBag™ の口を 2 回以上折り曲げてクリップで留めます。

Bag の口をクリップで留めておくと、Bag の内圧が突然高くなったときにガスが逃げるのを防いでくれます。

- D. ガス導入を止めて数分間、袋がしぼまないことを確認したら に進んでください。

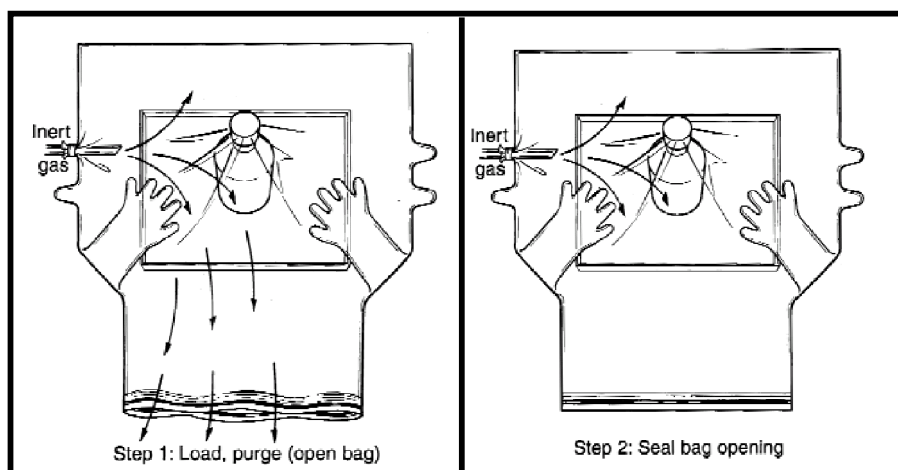


図 4

-3 長時間使用する場合

- A. AtmosBag™ の口をしっかり締めた後、2 回以上折り曲げてクリップで留めてください。
Bag の口をクリップで留めておくと、Bag の内圧が突然高くなったときにガスが逃げるのを防いでくれます。
- B. 一方の接続口にオイルバブラーをつなげ、もう一方の接続口から不活性ガスを流し続け、AtmosBag™ 内の圧力を一定に保ちます。

AtmosBag™ に手を入れる前に。。。

素手を袋に入れる前に木綿製の手袋をはめることで湿気を取り、Bag から手を取り出しやすくなります。さらに、耐薬品性の手袋を AtmosBag™ 内で使用することで、毒性、刺激性の物質を扱う際、より安全になります。(AtmosBag™ 内で使用するには、ガスを導入する前にあらかじめ手袋を入れておくことをお忘れなく。)



SIGMA-ALDRICH

シグマ アルドリッチ ジャパン株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-24
天王洲セントラルタワー4F

カタログのご請求はe-mail、FAXまたは日本語サイトからどうぞ
製品に関するお問い合わせは、弊社テクニカルサポートへ

TEL.03-5796-7330 FAX.03-5796-7335

在庫照会・ご注文方法に関するお問い合わせは、弊社カスタマーサービスへ

TEL.03-5796-7320 FAX.03-5796-7325

URL: <http://www.sigma-aldrich.com/japan>